

## 11月の世界の天候

11月の北半球 500 mb 高度天気図をみると、中緯度帯には正偏差域が、高緯度帯には負偏差域が大きく広がっている。これに対応して北半球の気温分布は中緯度で高温、高緯度で低温であった。気温が高かったためか、北半球では多雨（雪）のところが多かった。特にヨーロッパ東部からソ連西部にかけてと、アメリカ合衆国の中部や南部で顕著であった。

## ① 東アジアの高温

日本、中国東部およびシベリア南東部では10月に引き続き気温が高かった。日本では小春日和の日が多く、11月の月平均気温の記録を更新したところも多い。また、月末には台風28号が紀伊半島に上陸した。中国の長江流域、日本の太平洋側およびシベリア南東部では降水量が多く、南京での月降水量は78 mm（平年の1.6倍）であった。

## ② シベリア中部・中国西部の多雨（雪）

## ③ ヨーロッパ東部・ソ連西部の多雨（雪）

イタリア北部では大雨のため洪水となり、ベニスでは1 mも浸水したと伝えられた。

## ④ サヘル・スーダンの高温

サヘルからスーダンにかけては気温が高かった。干ばつによる食料難が伝えられるスーダンでは特に顕著で、ハルツームの月平均気温は30.9°C(+3.4°C)であった。

## ⑤ カナダ西部・アラスカの低温

カナダ西部からアラスカにかけては低温で、アンカレッジの月平均気温は-12.3°C(平年差-6.8°C)であった。

## ⑥ アメリカ合衆国の高温

合衆国では上旬に一時気温が平年を下回ったが、いわゆるインディアン・サマーの日が多く、月平均としては中部や東部を中心に高温となった。

## ⑦ アルゼンチン・ブラジル南部の高温

アルゼンチンからブラジル南部にかけては、ブエノスアイレスで19.0°C(+2.2°C)など気温が高かった。パラグアイからアルゼンチン東部にかけては雨が多く、ブエノスアイレスでは洪水が発生したと伝えられた。

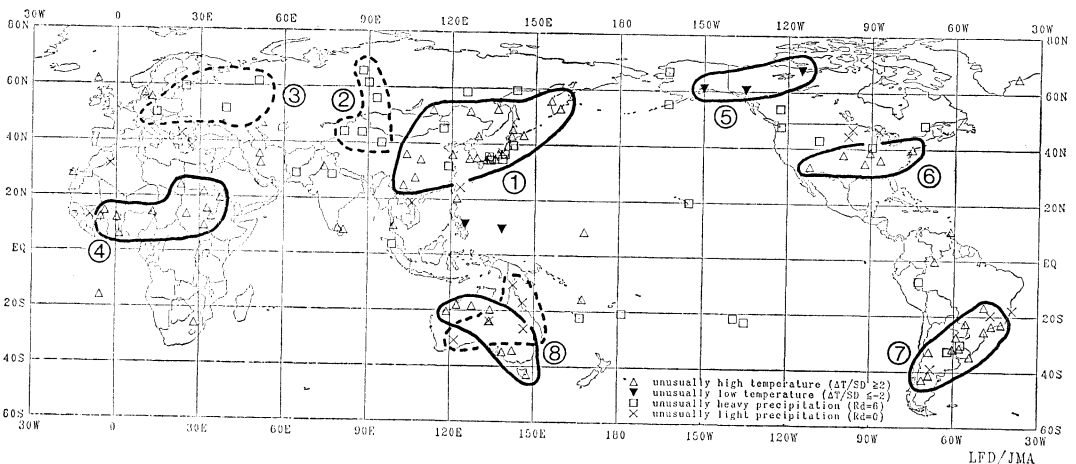
## ⑧ オセアニア

オーストラリアの北東部から南西部にかけての広い範囲で気温が高かった。また、東部や南部では雨が少なく、各地で山火事が発生した。

フィリピンの中部に強い台風第25号が上陸し、中南部を中心に400人以上が死亡し、60万戸の家が破壊されたと伝えられた。中部の中心都市セブでは数十隻の船が沈むなど大きな被害がでた。

南アフリカでは気温が高く少雨で、トウモロコシなどの植え付けが大きく遅れた。

(気象庁長期予報課・宮崎 保彦)



1990年11月の世界の異常天候分布図

図中の番号は、本文中の番号と対応している。

△：高温 ▼：低温

□：多雨 ×：少雨

1990年10月の気候表の説明。平均値は1951～1980年のデータに基づくもの。降水階級は五分位値で、0は最小値より小さい場合、6は最大値より大きい場合。

1991年1月